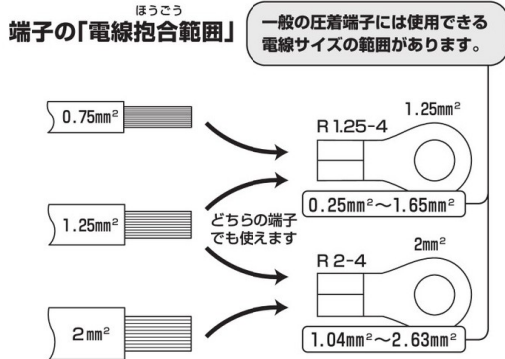


# 圧着作業の基本

## 1 電線と圧着端子と圧着工具の関係



### ① 電線サイズにあわせて端子サイズを選びます



❗ 抱合範囲以下の場合「電線抜け」、範囲以上の場合「電線切れ」等が事故の原因となります。

### ② 圧着工具を選びます

端子の種類によって圧着工具も異なります。適正工具を使ってください。

端子	適正工具
<b>裸圧着端子</b> 	<b>裸端子用工具</b> 歯口は1枚歯  裸圧着端子の場合は凹凸歯口で一箇所をカシめます。
<b>絶縁ひふく付圧着端子</b> 	<b>絶縁付端子用工具</b> 歯口は2枚歯  電線の「心線部」と「被覆部」の2箇所を同時にカシめます。
<b>閉端接続子</b> 	<b>閉端接続子用工具</b> 歯口は1枚歯  合わせた複数電線の「心線部」だけをカシめます。

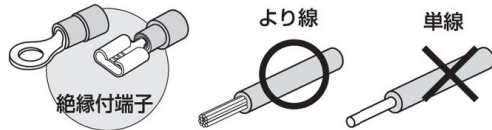
### よくある事故

絶縁付端子を裸圧着端子用工具で圧着。絶縁部が裂けて端子の金属部が露出し、他との接触がショートの原因となった。



### よくある質問

単線に絶縁付端子・スリーブは使えますか？  
 単線は「裸圧着端子・裸圧着スリーブ」を使用し、絶縁キャップ、絶縁チューブ、テーピング等で絶縁処理を行ってください。

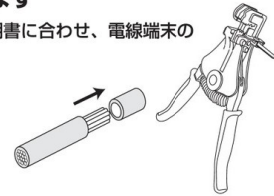


## 2 圧着加工の手順

### ① 電線ひふくをムキます

各種端子の取り扱い説明書に合わせ、電線端末のひふくをムキます。

端子の種類や形によってひふくムキの寸法はちがいます。



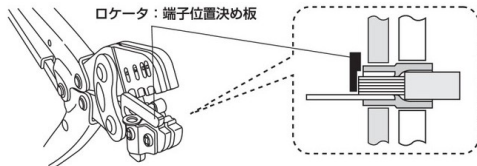
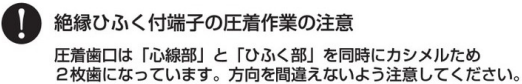
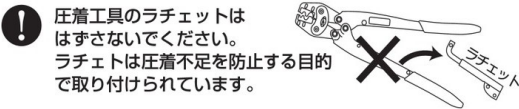
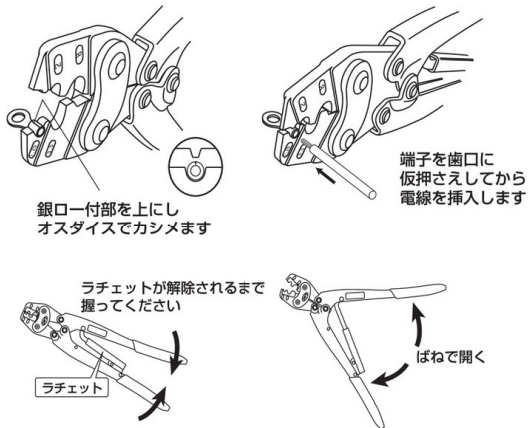
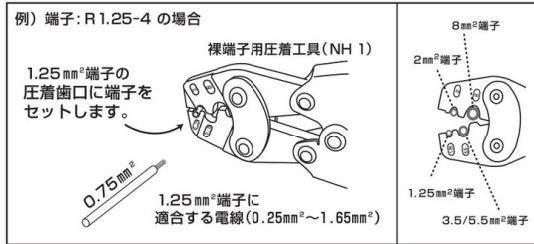
### 被覆ムキ寸法の目安

<b>裸圧着端子</b> 約1mm	<b>リングスリーブ</b> スリーブ長より 1.5~3.5mm 長く ニチフ製リングスリーブの場合：12~14mm (a)+(1.5~3.5mm) a  圧着後に電線の切り口の突起を無くすため、ペンチで先をたたか、先端をペンチではさんで2~3回まわしてください。  絶縁キャップや絶縁テープで圧着箇所を絶縁処理して接続完了です。 VAキャップ リングスリーブ用 絶縁キャップ
<b>裸圧着Pスリーブ</b> 約1mm	
<b>裸圧着Bスリーブ</b> 約1mm	
<b>絶縁ひふく付端子</b> 約1mm	
<b>閉端接続子</b> 約1mm	<b>閉端接続子</b> 奥まで 閉端接続子の種類によって先端の絶縁部の長さが異なるため、端子に合わせて、奥まで挿入できる長さにおいてください。

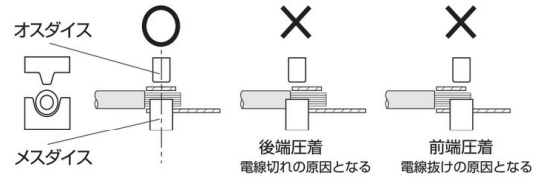
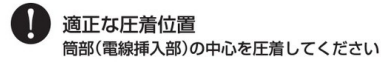
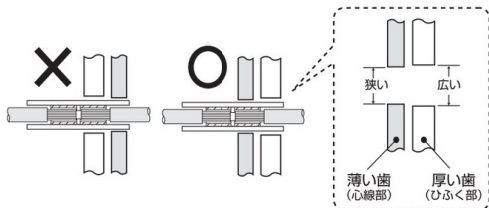
# 圧着作業の基本

## ② 圧着します

端子サイズごとに圧着する歯口がきめられています



絶縁付スリーブなど、丸形・先開形以外の端子を圧着する場合は、このロケータを取り外してご使用ください。



裸圧着端子・スリーブ	絶縁ひふく付端子・スリーブ
<p>圧着断面</p> <p>端子</p> <p>電線(心線)</p>	<p>圧着断面</p> <p>絶縁ひふく</p> <p>端子</p> <p>電線(心線)</p>
<p>♂スリーブ(重ね合せ)</p>	<p>絶縁ひふく付圧着端子</p>
<p>♂スリーブ(突き合せ)</p>	<p>絶縁ひふく付♂スリーブ</p>

## ③ 圧着後の目視検査

裸圧着端子	絶縁ひふく付圧着端子	判定
		○ 正しい圧着
		× 後端圧着
		× 前端圧着
		× ひふくム寸法不良
		× 電線挿入不良